

競技注意事項

1. 本競技会は2024年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行う。

(1)競技用靴・靴底の厚さ(TR5.2) ※2024年10月31日まで

種目	ソールの最大厚さ	その他の要件/注意
フィールド種目(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じ40mmとする。
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※フィールド競技用靴においては、「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規定については、適用除外とするが、その他の規定(靴底の最大の厚さ)は遵守すること。

(2)競技エリア内で携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を持ち込んではいけない。

2. 招集(コール)について

(1) 招集時間(競技開始時刻前の下記時刻で行う。この時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。)

	トラック	跳躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	80分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	70分前

(2) 競技者は招集開始時刻までに招集所内で待機し、競技服装(アスリートビブス・トラック競技では腰ナンバーカードを付けている状態)になり、競技で使用するシューズのチェックを受ける。整列点呼後、招集所から各競技場所へは、競技者係の誘導によって、まとまって移動する。

(3) 招集に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。

(4) 欠場する場合は、欠場届を招集開始時刻までに招集所の競技者係へ必ず提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(5) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、第一種目の招集完了時刻までに「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならない。

また、ラウンド進出により招集時間帯に競技が行われる可能性が発生した場合には、すみやかに多種目同時出場届を招集所へ提出すること。代理をたてる必要はない。(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(6) リレー競技について

①オーダー用紙は、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

②招集完了時刻前であっても、一度提出したオーダー用紙の変更・差し替えは認められない。

③一度オーダー用紙を提出した後の変更は、招集完了時刻までに総務に申し出たうえで、大会本部が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、走順の変更は認められない。

④オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。他種目に出場していて、多種目同時出場届の提出が完了している場合は、代理の必要はない。

(7) 招集所から現地(スタートライン・跳躍ピット・投擲ピット)に行く場合、競技者係の指示に従うこと。

3. アスリートビブス 必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。

トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。

なお、腰ナンバーカードは各校で準備すること。800m以上の種目については主催者側で準備する。

腰ナンバーカードは大会本部で販売する(布タイプ 1～8番のセット 500円、シールタイプは1枚 50円)。

4. 運営方法

(1)トラック種目は全てタイム決勝とする。走高跳と棒高跳を除くフィールド競技は3回の試技で終了する。

(2)100mはスターティングブロック設置後、速やかに下がること。

(3)800mは原則として1レーン2名でスタートする。男子5000m・女子3000mはグループスタートとする。

(4)ラスト1周で3000mは13分30秒、5000mは18分30秒、3000mSCは10分30秒、5000mWは男子33分、女子37分をこえる選手は審判長が競技を打ち切る。

(5)バーの上げ方 走高跳 男子 1.50-1.55-1.60-1.65-1.70-1.75 以降3cmずつ

女子 1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45 以降3cmずつ

棒高跳 男子 2.60-2.80-3.00-3.20 以降10cmずつ

女子 当日決定する。 ※走高跳・棒高跳の練習の高さは当日に現地で決定

(6)これ以外のフィールド種目の測定ラインは当日、審判長が決める。

(7)走幅跳・三段跳 1・3組はトラック側(A)ピット、2・4組はスタンド側(B)ピットで行う。

(8)各自が持参した投てき用やりは検査を受けて使用する。(競技開始90分前から60分前までに器具庫前に持参すること)

(9)投てき競技の滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

(10)4×100mや走高跳の助走等のマークに使用するテープは、養生テープを使用すること(テーピング不可)。

(11)フィールド競技の試技制限時間

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技は1分とする

※※残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

5. 補助員 8:15集合(雨天練習場)

参加人数が5～9人以内の学校は1名、10～19人は2名、20人以上は3名の補助員を両日とも出すこと。参加人数が極端に少なく補助員を出すのが難しい場合は、顧問が役員受付時に受付役員に申し出ること。清掃については、補助員割り当てを見て、確認しておくこと。

6. 競技場への入場について

入場は学校関係者のみとし、各校の顧問は入場者の把握を行ってください。

7. その他

(1)競技会開始前のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。

ただし競技会準備を優先し、マーシャル役員の指示に従い、練習は競技開始30分前までとする。

長距離用周回練習:1・2レーン *ジョグはレーン外

短距離練習

20日(土):ホームストレート5・6レーン(100mH 練習)、7・8レーン(110mH 練習) ※レーン外で戻る

バックストレート7・8レーン(直線からのスプリント練習)

バックストレート3・4・5・6レーンはバトン練習を優先とする。練習後に必ず、(養生テープ)をはがすこと。

*バトン練習は初日のみ

21日(日):ホームストレート4~8レーン(直線からのスプリント練習)

バックストレート4・5レーン(コーナーからのスプリント練習)

6レーン(女子 400mH 練習)7・8レーン(男子 400mH 練習)

(2)20日(土)・21日(日)両日もサブグラウンドはアップ場として開放する。

(3)20日(土)の100m 競技中のみ、バックストレートの2から7レーンを直線からのスプリント練習に限り、開放する。

(バトン練習は禁止する。)

(4)競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止。ゴール後は本部前を通らないこと。

また、トラック周囲を通行することは競技の妨げになるので、スタンド通路を通行すること。

(5)フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。

(6)メインスタンドには部旗・のぼり・横断幕等を掲げない。テントはメインスタンドおよびバックスタンド中段通路より上で、屋根のない所に設置する。

(7)貴重品・私物の管理は各校で責任を持つこと。盗難には十分に注意すること。

(8)ケガ人が出た場合、本部で応急手当は行いますが、その後は各校顧問で処置して下さい。

(9)ゴミはすべて持ち帰ること。

(10)駐輪禁止:点字ブロック周辺・正面階段前には自転車止めないこと。

(11)本大会の結果については場内アナウンス及び電光掲示で行い、紙による掲示は行わない。また、高体連HPに随時アップデートするため、各自確認すること。なお、競技結果が場内アナウンスされた時点を正式発表とする。

(12)撮影は許可証(1階本部で発行)を必要とする。撮影中は許可証をはっきりと見える位置に掲示したうえ、当該生徒のみ撮影すること。許可証は当日中に必ず返却すること。

(13)21日(日)の開門抽選は20日(土)8:45~9:00の間に1階エントランスで行う。